

令和元年度第1回水戸市立博物館協議会

日時 令和元年7月19日(金)
午前10時30分から
場所 水戸市立中央図書館
3階視聴覚室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 博物館職員紹介

4 議 題

(1) 報告事項

- ・明治維新150年記念特別展「水戸城遙かなり」の結果について

(2) 協議事項

- ・企画展 「夏休み子どもミュージアム 水戸藩の学校」の開催について
- ・特別展 「大正の漫画家・山田みのる」の開催について

(3) その他

5 閉 会

※ 閉会後に、「夏休み子どもミュージアム 水戸藩の学校」の内覧会を行います。

水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期:平成30年7月15日～令和2年7月14日)

氏名	役職等
長谷川 聡	市学校長会代表 鯉淵小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会委員
和田 祐之介	市商工会議所名誉会頭
岡田 貴子	県生涯学習・社会教育研究会評議員
桐原 幸一	茨城生物の会副会長
小坪 のり子	県弘道館事務所学芸員・主任研究員
小菅 次男	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館副参事兼歴史資料課長
鈴木 暎一	茨城大学名誉教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	筑波学院大学経営情報学部教授
藤 和博	県立石岡第一高等学校定時制課程教頭
藤本 陽子	学識経験者
吉川 明宏	茨城県教育庁総務企画部文化課主査
土田 記代美	市議会代表

(順不同・敬称略)

議題

(1) 報告事項

明治維新 150 年記念特別展「水戸城遙かなり」の結果について

1 概要

水戸の台地の先端に位置する水戸城は、中世の江戸氏、佐竹氏の時代を経て、江戸時代を迎え水戸徳川氏の拠点となった。水戸徳川氏のもと、城及び城下町の整備が進められ、水戸城は政庁として藩政の中心的な役割を担った。しかし、明治以降は、明治5年(1872)の水戸城放火事件、その後の解体、水戸空襲などでその姿は失われ、現在往時を語るものは薬医門や土塁、空堀などごく一部だけとなっている。

近年、旧水戸城内に、柵町坂下門、杉山門が建てられるなど、城跡らしい景観の整備が行われた。さらに、大手門・二の丸角櫓の復元事業も進められ、水戸城に対する市民の関心が高まりつつある。

本展覧会では、調査によって得られた資料をもとに、往時の水戸城の姿を紹介していく。

2 会期

平成31年2月10日(日)～平成31年3月17日(日) 33日間
(月曜休館、ただし2月11日(月)、2月25日(月)は開館)

3 会場

水戸市立博物館3階、4階展示室

4 入場者数

5,726人

5 図録等頒布数

名称	部数	収入額
水戸城遙かなり	457	685,500円
三階櫓ストラップ	283	56,600円
大手門ストラップ	108	10,800円
水戸城絵葉書	635	31,750円
万博の殿様	5	3,250円
辻永展	1	2,000円
千波湖の自然	7	2,450円
徳川光圀	7	5,600円
香りの世界	2	3,000円
江戸繁昌記の世界	1	1,000円
知られざるインド更紗展	1	2,200円
飛田穂洲	2	2,000円
大御所時代	2	4,000円
水戸市森林公園の生きもの図録	1	1,500円
激動の昭和鉄道史	9	9,000円
潤沼のいきもの	2	2,000円
疾風怒涛の時代 ハドソン慕進！DVD付	3	4,500円
天空を翔る鳥たち	2	2,000円
あこがれの空へ—武石浩玻—	1	1,000円
知られざる女流画家 櫻井雪保	1	1,000円
子どもは風の子 昭和の子	1	1,000円
みと歴史探訪 パンフレット	58	5,800円
水浜線ペーパークラフト	2	200円
合計	1,591	838,150円

6 収入金額

入場料	122,900円
図録等	838,150円
合計	961,050円

7 関連行事

①プレコンサート「水戸城発☆世界の音楽紀行」

日 時：平成31年2月9日（土） 13：30～14：10

会 場：博物館3階展示室

演 奏：アンサンブル・マレット（マリンバ）

参加者数：30名

②和太鼓ライブ「水戸の城下は大賑わい！」

日 時：平成 31 年 2 月 17 日（日） 11：00～11：30, 14：00～14：30
会 場：博物館 3 階展示室
演 奏：和奏
参加者数：午前 52 名 午後 60 名

③水戸城ウォーキング

日 時：平成 31 年 2 月 23 日（土）、3 月 17 日（日）
両日とも 11：00～14：30
会 場：水戸城跡地
講 師：当館学芸員
参加者数：2 月 23 日…25 名, 3 月 17 日…24 名

④ギャラリートーク

日 時：平成 31 年 2 月 24 日（日）、3 月 16 日（土）
両日とも 11：00～12：00, 14：00～15：00
会 場：博物館 4 階展示室
講 師：当館学芸員
参加者数：2 月 23 日 午前 40 名, 午後 35 名
3 月 17 日 午前 25 名, 午後 30 名

⑤講演会「水戸城の昔日の姿～天守と城門と御殿の魅力～」

日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土） 13：30～15：00
会 場：みと文化交流プラザ 6 階大会議室
講 師：三浦正幸氏（広島大学名誉教授）
参加者数：231 名

8 アンケートについて

会場で実施したアンケートの集計結果については、次頁のとおりである。

特別展「水戸城遙かなり」 アンケート集計結果

どんな方が来館しているか

①性別（回答：98名）

男性	60	女性	38
----	----	----	----

②年齢（回答：126名）

9歳以下	7	40代	16
10代	10	50代	18
20代	10	60代	24
30代	11	70歳以上	30

③お住まい（回答：122名）

水戸市	64	鉾田市	1
ひたちなか市	7	石岡市	4
那珂市	3	守谷市	1
大洗町	2	古河市	1
笠間市	3	栃木県宇都宮市	1
城里町	2	千葉県我孫子市	1
日立市	7	千葉県船橋市	1
高萩市	1	千葉県松戸市	1
常陸大宮市	1	千葉県千葉市	1
常陸太田市	1	千葉県習志野市	1
東海村	2	東京都	4
神栖市	2	東京都北区	1
鹿嶋市	2	東京都国分寺市	1
その他	6		

④交通手段（回答：139名）

電車	17	自転車	5
バス	14	徒歩	16
自家用車	85	友人の車で	1
バイク	1		

⑤年間を通して、博物館や美術館に行った回数

0回	16	7回～10回	9
1回～3回	49	10回以上	19
4回～6回	30		

1 展覧会の広報について

この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	26
チラシ	39
広報「みと」	26
インターネット	17
新聞	17
雑誌・タウン誌	3
テレビ・ラジオ	8
人から聞いて	18
博物館・図書館に来てみて	11

その他 11	
<招待>	
・案内状	5
<チラシ>	
・チラシ(学校向け)	1
<その他>	
・公民館	2
・学校の社会科見学で知って	2
・友人に誘われて	1

2 今回の展覧会について

①展覧会に来場される前、水戸城があったことをご存知でしたか？

知っていた 127 知らなかった 9

②(①で「知っていた」と回答した方のみ)水戸城がどこにあったのかをご存知でしたか？

知っていた 110 知らなかった 11

③展示コーナー及び展示資料の中で一番印象に残ったものを教えてください。

☆展示コーナー(上位3つのみ抜粋) ☆展示資料(上位3つのみ抜粋)

- | | |
|-----------------|----------------|
| ・映像コーナー 17 | ・水戸城屋形図 14 |
| ・水戸城屋形を訪問 11 | ・三階櫓と大手門のCG 11 |
| ・水戸城の巨大な堀 千波湖 6 | ・三階櫓の模型 10 |

④この展覧会に対するご意見やご感想をお聞かせください。(一部抜粋)

<感想>

◆全体的なもの

- ・水戸城がわかるこのような大規模な展覧会は、たぶん初めてだと思う。大変参考になった。
- ・水戸城は知っていたが、こんなにも詳しく展示しているのは初めてでよかった。また企画してほしい。(30代 男性)
- ・とても興味深かったです。自分に関わりのある歴史の展示には、ことのほか興味をそられるものですね(茨鉄のときもそう思いましたが…)。(20代 女性)
- ・珍しく、またわかりやすい資料が多数あり、水戸城を具体的に理解することができた。これだけ資料をそろえるのは大変だったと思う。感謝します。(70歳以上 男性)

◆展示について

- ・吹き出しのパネルがわかりやすかった。(10代 男性)
- ・江戸時代の三階櫓を3DCGで再現した展示は、わかりやすくよかった。
(20代 男性)

◆内容について

- ・初めて見る内容がほとんどで、非常に興味深かった。
- ・新しい資料等の発表は誠にいいことだと思う。関係された方に敬意を表します。(60代)
- ・水戸城を、初期から今日まで概観してみることでできる展示は、今までなかったので良かった。(20代)

◆水戸城について

- ・水戸城として残っているものは少ないが、もっとアピールし、復元してほしい。
(50代 男性)
- ・水戸城の事がわかってよかった。三階櫓も復元できたらいいと思っています(天守閣にあたるものであるから)。(40代 男性)

<意見>

◆展示について

- ・内容の豊富な展覧会です。整理して常設展の一部にされてはいかがでしょう。
- ・展示物のより詳しい説明があると良い。残念です。(60代 女性)
- ・できれば文書の訳文がほしかった。(60代 女性)
- ・もうちょっと広い場所で。(60代)
- ・関心を持った人が、実際に水戸城へ行けるよう、マップ等があるとよいですね。
(50代 女性)
- ・水戸に住んでいても、門がどこにあったのか、映像と地図だけではよくわからないところもあった。現在地との対比をよりわかりやすく表していただけるとよかった。
(50代 女性)
- ・最近フラッシュを利用しない写真撮影可の展覧会が増えています。今回の水戸城展の撮影不可には残念な気がします。(70歳以上)

◆広報について

- ・ここまで充実していることをもっと広報し、SNSなどでも拡散できるような仕組みを作っていけるとよいと思います。また、小・中学校に巡回することも考えてよいのではないのでしょうか。(50代)
- ・小学生や中学生、高校生達がこぞって見に来るように推薦していただきたい。時間帯によっては、高齢者しかいなかった。(70歳以上 男性)

- ・水戸城の歴史がわかってとてもよかったです。もっと入館者が増えたらいいなと思いました（私は平日の昼間に来たので人が少なかつただけかもしれませんが…）。

今、ちょうど梅まつりに併せて刀剣乱舞のスタンプラリー等が開催され、街中が大変にぎわっているのですが、刀剣には直接関係ない展示だけど、同様にスタンプラリーの場所等になればもっと多くの入館者が望めるものではないかと感じました。せっかくいい展示なのにもったいないと思いました（30代 女性）。

◆関連行事について

- ・関連行事の定員は倍にさせていただいたかった。「定員を超えたため受付終了」が早すぎると感じました。（70歳以上 男性）
- ・水戸城ウォーキングをまた開催してほしい。（50代 男性）

◆販売物等について

- ・図録がよかったです。（50代 女性）
- ・三階櫓ストラップは大変いいので、お土産品として常時販売してください。（40代 男性）

3 今後開いてほしい展覧会について

◆自然関係

- ・自然環境展（70歳以上 男性）

◆歴史関係

- ・古代の水戸（70歳以上 男性）
- ・台渡里について
- ・江戸氏について
- ・中世の水戸城（馬場氏の館や江戸氏の宿城、関連城郭等）（10代 男性）
- ・小幡城と水戸城の由来（60代 女性）
- ・御三家としての格式や歴代藩主の流れ
- ・徳川光圀について（9歳以下 男性）他1名
- ・徳川十五代将軍たちの活躍（9歳以下 女性）
- ・6代藩主治保公をもっと県民に広く紹介してほしい。養仙院も興味深い方だと思います。（50代）長久保赤水なども。（40代）
- ・光圀、斉昭以外の藩主、世子の書跡（30代 男性）
- ・徳川斉昭（40代 男性）（40代 女性）
- ・水戸東照宮（40代 男性）
- ・天狗、諸生（50代 女性 2名）（60代 男性）
- ・水戸が関わった幕末の桜田門外の変と天狗騒乱（60代）
- ・幕末（20代 女性）（60代 男性）（30代 女性）

- ・水府流水術（9歳以下 女性）
- ・明治以降の水戸徳川家。
- ・明治期以降の観光（20代 女性）
- ・鉄道について（50代 男性）
- ・もう一度茨城鉄道の展示をお願いします。（60代 女性）
- ・戦災以前の水戸のまちの様子（70歳以上 男性）（30代 女性）
- ・戦争の記憶を若い人たちに残せる催し（70歳以上 女性）
- ・吉田の飛行場について（70歳以上 男性）
- ・「水戸城遙かなり」第2弾、第3弾を願います。（50代 男性）
- ・水戸城は地形等をテーマに10年～15年くらいおきにテーマにしてもよいと思いました。
（50代 女性）
- ・水戸城三階櫓内部（30代 男性）
- ・城と那珂川の関係（50代 男性）
- ・水戸城、偕楽園の古写真（40代 男性）
- ・千波湖の歴史（50代 男性）他1名
- ・町人の当時の生活ぶりを知りたい（70歳以上 男性）
- ・市井の市民の生活、暮らしぶりを年代を追って（歴史都市ならではのもの）（70歳以上）
- ・水戸市内案内、御用留等を中心に。（60代 女性）
- ・水戸の町並みなど（60代）
- ・水戸出身の有名人（関係者、男女不問）の資料や経歴の展示。（70歳以上 男性）
- ・周辺の寺社についてくわしく知りたい（由来、地理的な理由等）。（20代 女性）
- ・刀剣があったら展示してほしい（20代 男性）
- ・水戸の歴史をクイズ形式にしたらどうでしょう。（40代 女性）
- ・建築（50代 男性）

◆民俗関係

- ・納豆（10代 男性）
- ・水戸の昭和史（50代 男性）
- ・水戸の郷土料理（30代 女性）

◆美術関係

- ・水戸の芸術、文化（今までとこれから）（70歳以上）

4 博物館について

①今まで博物館に来たことはありますか？（回答：127名）

よく来る	18
何度か来たことがある	60
あることは知っていたが来たことはなかった	37
あることを知らなかった	12

②博物館の全体的な展示、施設、運営などについて、ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。（一部抜粋）

◆展示について

- ・お年寄りが来るのに、展示の規模がちょうどいい。（60代）
- ・常設すばらしい。もっと多くの人に知ってほしい。（50代 女性）

◆施設について

- ・博物館の場所がわからず、市報をちらっと見ただけで、美術館、歴史館、県立図書館とぐるぐる回ってしまった。道行く人に尋ねても、場所を知っている人はいなかった。（40代 女性）
- ・歩道に面した入口階段が目立ちにくいので、博物館として目に留まりやすき表示等を工夫されては（70歳以上 男性）
- ・エレベーターの位置を親切にしらせてほしい。（60代）
- ・スロープで入館できるとありがたいです。体が不自由ですが、御親切にガイドいただき感謝しております。（70歳以上 女性）

◆運営について

- ・展示は素晴らしかったのに、声の大きな集団が来て集中できなかったのが残念です。（50代 女性）
- ・身近な歴史を取り上げて、視覚的な資料をより多く集めて展示してほしい。（20代 女性）
- ・展示物の解説員。（10代 男性）
- ・展示解説の時刻をホームページに明記してほしい。ホームページが見にくいです。

(2) 協議事項

企画展「夏休み子どもミュージアム 水戸藩の学校」の開催について

1 概要

水戸藩では、藩校弘道館をはじめ、郷校(学)や私塾(学問塾)、寺子屋(手習塾)等多くの学校が作られ、学びの機運が高まりました。水戸藩をはじめ、全国に作られた多様な学校は、江戸時代の高い教育水準の礎となり、日本の近代化の原動力となりました。

平成27年の日本遺産認定以来、本市ではさまざまな機会を捉え、水戸藩の学校や学びの特色を紹介してきましたが、水戸藩で展開された学びを物語る歴史資料を集めた展覧会を開催する機会はあまり設けられてきませんでした。

そこで、本展覧会は、水戸藩の寺子屋(手習塾)で使われた机、教科書類、郷校(学)や私塾(学問塾)の教師や教室の様子を描いた絵、藩校弘道館での宿題等、当時の学校の様子を物語る資料を一堂に展示し、実物資料を通じて、子どもたちに水戸藩の豊かな学びの文化を体感いただくものです。

- 2 会期 令和元年7月20日(土)～8月25日(日) 32日間
月曜休館(祝日8月12日開館, 13日休館)

- 3 会場 水戸市立博物館4階展示室(入場無料)

4 関連行事

名称	期日	内容
チャンバラ しょうぜ!	7月21日(日) 8月18日(日)	スポーツチャンバラに挑戦する。 ※定員:各20名(小学生以上)
的をねらえ!! ゴム鉄砲作り	8月3日(土)	子どもでも作れるおもちゃ作りを体験する。※定員:15名(小学生以上, 小3以下保護者同伴)
キッズ・ギャ ラリートーク	7月27日(土) 8月12日(月) 8月24日(土)	学芸員が,子どもにもわかるように展示内容を解説する。
江戸工作に チャレンジ	8月4日(日) 8月17日(土)	江戸時代にはやったおもちゃ・紙つばめ作りに挑戦する。 ※定員:各15名(小学生以上, 小3以下保護者同伴) 参加費200円
夏休み かえっこ	8月10日(土)	お金を使わない,おもちゃの交換会を実施する。

特別展「大正の漫画家・山田みのる」の開催について

1 概要

大正時代に活躍した漫画家・山田みのる（1889～1925）は、水戸の八幡町の出身です。東京美術学校で洋画を学び、在学中から漫画を発表し始めました。卒業後は中央新聞社や東京朝日新聞社に勤め、時事漫画や風刺漫画を新聞や雑誌に発表し、さらに、『少年倶楽部』や『少年世界』などの子ども向けの雑誌にも漫画を掲載しました。人気漫画家の一人として出版界で活躍する一方、ユーモアにあふれた、戯画と呼べるような絵画作品も残しています。

しかし、わずか36歳でこの世を去ってしまったため、彼の画業はこれまであまり広く知られる機会がありませんでした。

山田みのるの作品は、独自の視点で捉えた人間社会の様子を、柔らかく温かな画風で表現しているのが特徴です。本展は、山田みのるが描いた愉快的時事漫画や風刺漫画、児童漫画、その他の絵画作品を展示し、その画業を紹介するものです。

同時に、山田みのると交流のあった同時代の漫画家・北沢楽天（1876～1955）や岡本一平（1886～1948）の資料も展示して、大正時代の漫画界の様相を探ります。

2 会期 令和元年10月20日（日）～11月24日（日） 31日間
月曜休館（祝日11月4日開館 11月5日休館）

3 料金 一般200円（20名以上の団体は150円）
※高校生以下、65歳以上、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者
保健福祉手帳所持者とその付き添い1名は無料

4 展示資料(予定)

山田みのる 絵画11点、掛軸10点、色紙1組、扇面1点
雑誌『東京パック』（大正10年5月号）

○水戸市立博物館条例

昭和55年 3月28日

水戸市条例第21号

改正 昭和56年 3月27日条例第20号

平成 4年 9月22日条例第27号

平成24年 3月28日条例第15号

注 平成24年 3月から改正経過を注記した。

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称 水戸市立博物館

位置 水戸市大町3丁目3番20号

(職員)

第3条 水戸市立博物館（以下「博物館」という。）に館長、学芸員、事務職員その他必要な職員を置く。

(観覧料等)

第4条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、水戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が期間を定めて特別の展示会を開催したときは、教育委員会が定める観覧料を徴収することができる。

2 教育委員会が特に必要があると認めるときは、前項の観覧料を減額し、又は免除することができる。

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償等)

第5条 入館者は、博物館の施設、設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、速やかに原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会)

第6条 法第20条の規定に基づき、水戸市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織等)

第7条 協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のうちから、教育委員会が任命する15人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により任命された委員の任期は、前任者の残任期間と

する。

- 3 協議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。
- 4 委員長は、協議会の会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平24条例15・一部改正)

(会議)

第8条 協議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

- 2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

(昭和55年教委規則第11号で昭和55年6月15日から施行)

付 則 (昭和56年3月27日条例第20号)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例による改正後の水戸市立博物館条例第6条第2項の規定により任命された委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。

付 則 (平成4年9月22日条例第27号)

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

付 則 (平成24年3月28日条例第15号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

